



# 群馬県森林組合連合会のSDGs宣言！



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）**とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます（外務省サイトより）。

私たち、群馬県森林組合連合会では、以下のような事業・取組を通じて、SDGsの達成を目指します。

### 森林の適正な整備と災害対応



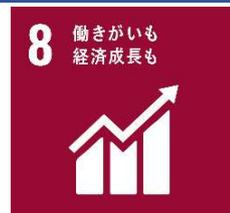
近年多発する豪雨災害を受け森林の持つ国土保全・水源涵養・土砂災害防止・温室効果ガス吸収、レクリエーション機能など、森林が持つ公益的機能への期待が高まっていることを踏まえ、健全で豊かな森づくりに向けた森林整備を推進して行きます。また、豪雨災害等により発生した森林土木施設被害の復旧対策に迅速な対応を図ります。

## 循環型林業の確立



伐採した山には必ず再造林を行うことで「伐って、使って、植える」循環を維持し、山の豊かさを保ちます。主伐・再造林施業の推進による、長期的な苗木需要に対応した優良苗木確保・供給体制の構築をはじめ、獣害対策にかかる関連資材やその他林業資材の提供など、系統購買事業の品質向上に努めます。

## 安心・安全な職場環境と高度人財の育成



風通しがよく、安心・安全な働きやすい職場を目指し、職員のエンゲージメント（幸福度、働きがい）が高まる職場環境づくりに取り組みます。

専門的かつ有能な人財確保を努め、全職員の資質向上を目指すための研修会等への積極的な参加に努めます。また、キャリアデザインとジェンダー平等を考慮した人財の育成・登用にも積極的に取り組みます。

## 森林認証材の普及・啓発



会員森林組合での森林認証取得を推奨し、適正に管理された認証森林から生産される木材等の流通・加工を進め、消費者の安心・信頼に応える木製品の製造と供給を行います。認証材製品の積極的な普及拡大を進めることにより、森林・林業の成長産業化に寄与し地域振興や資源循環型の社会の実現を目指します。

## 森林教育・木育



赤城ふれあいの森を中心に、来場者のみならず学校・企業等への森林・林業に関する森林環境教育及び各種イベントを開催し、森林・林業の現状や「木を伐ること、木を使うこと」の大切さを老若男女問わず伝えます。森林や木製品に親しみと、森林・林業に関心や興味を持ってもらい、今後の林業の発展に繋がるような活動を進めていきます。

## バイオマス発電による脱炭素社会



渋川県産材センターを中心として加工する未利用材・低質材チップを、エネルギー利用として木質バイオマス発電所に安定供給することで、地域資源の有効活用を維持増進するとともに、化石燃料由来のエネルギー利用減少による地球温暖化防止対策にも貢献します。

## 環境と人にやさしい木質空間



我々が提供する木材製品により木造化・木質化を進めることで、環境にやさしく暖かな木材空間に包まれることにより心地よく木材の暖かみを感じていただけます。

また、木材を使うことによりCO2排出量をおさえ、木材自体が炭素を蓄えるため、木造建築は地球温暖化防止に繋がります。

## スマート林業の推進



県産木材SCMシステムを活用し、需要と供給マッチング機能強化および流通販売業務の効率化と精度向上に努め、デジタル化による木材の生産・販売・流通の全体最適としての県産木材サプライチェーンを構築します。

スマート林業ICT関連企業と連携を図り航空・地上レーザーやドローン等の技術研究を進め、スマート林業による森林調査業務の効率化・生産性向上等に取組みます。

## 企業等のパートナーシップによる森林の持続可能性の確保



JA・生協等の協同組合とさらに広く連携・交流を進め、協同組合の相互理解の中で、森林組合事業と森林の多面的機能についてのPRを強化するとともに、協同組合の更なる発展と地域社会貢献活動を目指して行きます。

また、広く異業種から経営・生産・販売管理を学び、森林組合経営管理や施業生産性と木材販売能力向上等に資するための研修会や交流会等を実施します。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS